

2019 秋の土曜フォーラム企画『世界の美術館の旅 11』

----- プロジェクター投影と解説

大地に刻まれた文化の道。各国の美術館に保存されている貴重な遺品を結びと、
人類の歩んだスケールの大きな道が浮かび上がってくる。

講師 = 谷岡 清 (当 NPO 理事長 / 美術評論家)

世界の歴史を遡ると、そこには数知れない文化と遺された文化財があります。人類の軌跡とも言うべきこれらの貴重な遺品は、世界各地の美術館・博物館に大切に保管され、それぞれ各時代の歴史と生きた人々の心や息づかいまでも感じさせます。しかし、人類の歴史は民族の交流の歴史であり、移動の歴史でもあります。今回は、各地域の美術館を点ではなく、線や面として捉え、文化の伝播や交流のダイナミズムと魅力を紹介します。

於：杉並区産業商工会館 (JR 阿佐ヶ谷南口歩 6 分 / 地下鉄南阿佐ヶ谷北口歩 4 分) 各回先着 70 名

◆第 1 回 11 月 2 日 (土) 14.00~16.30

世界最古で最高！ 縄文土器・土偶と世界の土器を比べてみると…
日本の縄文土器の始まりは、今からおおよそ 15000 年前。エジプト、メソポタミア、中国よりはるかに古く、ダントツ世界最古。その造形の奇抜・秀逸さは世界が注目。



◆第 2 回 11 月 9 日 (土) 14.00~16.30

仏像を造ったのはアレキサンダー大王？ 仏像誕生の起源を探る
ギリシャのアレキサンダー大王が突如インドに現れたのは紀元前 326 年。疾風のごとく去った後、なぜかガンダーラに仏像が誕生する。その経緯と謎に迫る！



◆第 3 回 11 月 16 日 (土) 14.00~16.30

樹下美人——豊艶なる豊穡の女神は、はるばる西からやって来た
正倉院の有名な“樹下美人”のルーツは、ペルシャかインドかヨーロッパか？ その豊満な肉体に隠された誕生の謎を追ってシルクロードを遡ると、意外な事実が…



◆第 4 回 12 月 7 日 (土) 14.00~16.30

世界を席卷した日本の磁器——柿右衛門の誕生秘話と魅力に迫る
世界ブランドのマイセン磁器が日本の柿右衛門の全くのマネから始まったのは有名な話。いかにして柿右衛門がヨーロッパを魅了し、模倣までされたか、を追う。



■ (参加費) 一般・既参加者: 各回 2000 円 / NPO 会員: 各回 1500 円 (会場受付にて)

注意! 会場: 昨年より場所が変更になりました。阿佐ヶ谷の杉並区産業商工会館です。

(5 月・6 月の美術フォーラムと同じ場所です裏面の地図参照) ・お問い合わせ: 03-3398-9155

●ご出席申込み FAX 03-3398-9158

お電話の場合：03-3398-9155

メールの場合：info@npoaesa.org

NPO 法人美術教育支援協会 御中

令和元年 月 日

秋の土曜フォーラム（杉並区産業商工会館）に出席いたします。（☑印を）

2019年（令和元年）

11月2日（土）

11月9日（土）

11月16日（土）

12月7日（土）

・お名前

会員の方は（☑印を）

・ご住所

・お電話番号やメールアドレス

・今後のイベント情報送付
 必要 不要

